

いて、以下に説明するが、「Ⅳ 授業研究の実践例」の中に見られる学習指導案を参照してほしい。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究主題</li> <li>● 研究のねらい</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 単元(題材)名</li> <li>2. 単元(題材)の目標</li> <li>3. 指導計画</li> <li>4. 本時の目標</li> </ol>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究主題の解決策</li> <li>①</li> <li>②</li> <li>}</li> <li>□</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <ol style="list-style-type: none"> <li>①</li> <li>②</li> <li>}</li> <li>○</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 児童生徒の実態</li> <li>6. 過程</li> </ol>

- 研究主題……自校の児童生徒の実態からとえられた、より具体的なものであること。
- 研究のねらい……研究主題を設定した理由を明確にする。その際、研究主題と児童生徒の実態との関連を明らかにし、研究の必要性と研究の方向を述べる。研究主題が具体的であれば、ねらいも具体的になる。
- 研究主題の解決策……研究主題をいかに解決するか、その解決策を具体的に書く。簡条書きにまとめ、その番号を□で囲む。解決策は、授業に結びつくものでなければならないが、この段階では、少し大まかであっても仕方がない。また、これらのすべてが、いつでも本時の授業に関連するとは限らず、教材によっては、これらのうちの一部のものだけが関連する場合もある。

「研究主題」から、「研究主題の解決策」までをわく取りする。これは、わたしたちの対象とする授業研究では、「研究主題の解決」と「本時の目標の達成」という二つの課題を持っており、この前者の課題が、ひと目でつかめるようにするためである。

1. 単元(題材)名……単元名または題材名を書く。
2. 単元(題材)のねらい……できるだけ簡潔に、

簡条書きにする。

3. 指導計画……ひと目で本時の位置づけがわかるように書く。
4. 本時の目標……わくの中に、指導目標を簡潔に書く。次に、本時の具体的な目標を児童生徒の立場で簡潔に簡条書きにし、その番号を○で囲む。
5. 児童生徒の実態……本時の指導内容に関連した児童生徒の実態を書く。
6. 過程の各欄について

段階時間	指導内容	留意点	学習活動	観点	観察記録	観点No 評価

● 段階・時間の欄……まず、段階ごとに時間及び時刻を記入する。そして、授業観察をしやすくし、事後研究会での話し合いを進めやすくするために、段階ごとに全ての欄に横線を入れて区切る。(指導内容によって区切る場合もある。)

● 指導内容・留意点の欄……授業観察をする場合、指導内容、方法、順序などを的確には握しておくなければならない。そこで、指導内容の欄には、指導内容、方法、順序などが、ひと目で読み取れるように書く。また、この欄には、研究主題の解決策が、具体化されて、位置づけられているはずである。留意点の欄には、指導上の留意点や解決策に関する配慮事項などを具体的に書く。

● 学習活動の欄……授業観察をする場合、児童生徒の活動が、観察の大部分を占める。それで、教師の指導による児童生徒の学習活動を予想しておけば、観察しやすくなるので、児童生徒の予想される反応、活動などを児童生徒の立場で書く。また、この欄には、本時の具体的な目標が位置づけられているはずである。

● 観点の欄……この欄の観点とは、「研究主題の解決策」と「本時の具体的な目標」とのことである。ここには、研究主題の解決策や本時の具体的な目標を、それがどんなものであったか、その場で、即座に読み取れるように要約して書く。

「2—1—2方式の授業研究」には二つの課題が